

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 10日

事業所名 放課後等デイサービス ナーチャーハーツ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	・入り口はスロープになっていて、室内には段差もありません。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	・半年に1回、目標設定や振り返りを行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・保護者からの意見を真摯に受け止め、改善できるようにしています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・毎年、ホームページに掲載しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	40%	60%	・月1回、有識者に訪問いただき、支援方法等の助言をいただいています。	・今後、検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・月1回、担当を決めて内部研修を行っています。外部研修にも積極的に参加しています。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・保護者と半年に1回、モニタリングを実施しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	60%	40%	・アセスメントシートを活用しながら、保護者から話を伺い、子どもの状況を把握しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・朝礼等で話し合っています。 ・季節の行事を取り入れています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・SSTの内容は週で変えています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	・子どもたちが飽きないように工夫しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・毎日、朝礼で打ち合わせを行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	80%	20%	・その日は難しいため、翌日の朝礼にて必ず打ち合わせを行い、共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・毎日、支援記録を取っています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・半年に1回、保護者とモニタリングをしています。中間評価により、計画の見直しを行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%			

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・主に児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%		・学校と連携を取るのは難しいです。保護者と学校で予定等の連絡調整を行い、保護者からデイへ共有してほしい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	40%	60%		・現在、対象児童はいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0%	100%		・現在は保護者または相談員からの情報のみです。今後必要があれば、こちらから連絡を取って情報共有と相互理解に努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	80%	20%		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	80%	20%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	20%	80%		・今後、検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	40%	60%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・連絡帳に子どもの様子を記入しています。 ・少しの時間ですが送迎時にお話したり、電話相談等も行っています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	80%	20%	・保護者より困りごとの連絡があった際は、解消できるよう支援しています。		
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・契約時に分かりやすい説明を心がけています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・連絡帳や電話等で相談に応じ、支援を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		・コロナ禍により出来ませんでした。今後増やしていきたい。 ・保護者同士のつながりをもつため、イベント等と合わせて保護者会等を開けるよう検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		・苦情があった場合はすぐに情報を共有し、解決、改善に努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・月1回、ナチャ丸通信を発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	・記名のある物はシュレッダーしています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・利用児、保護者に合わせた配慮を行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		・今後、検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・年に2回、職員と子どもたちとで避難訓練を実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・外部や内部の研修会に参加しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	・契約時に同意書にて、保護者からの了解を得ています。計画書にも記載しています。	・現在、対象児童はいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		・利用開始前のアセスメント時にアレルギーの有無について確認しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	60%	40%		・ヒヤリハット事例集を作成し、職員間で共有できるようにしています。引き続き、再発防止に努めます。